

# 風水害による災害に備えて



梅雨時期から10月にかけては、台風などにより、低い土地での浸水や土砂災害が発生しやすい時期です。もしもの災害に備え、日頃の準備を確認しましょう。

## 積極的に情報収集を

**避難情報** ちちふ安心・安全メールや、防災行政無線、市HPで発信しています。

**気象情報** テレビ、ラジオ、気象庁のHPで確認してください。

**令和8年5月から防災気象情報（気象警報など）が新しくなりました。**

詳細は、市報5月号4ページまたは、右記QRコードより、気象庁HP特設ページをご確認ください。



## 戸別受信機（防災ラジオ）を無償貸与しています

**対象** 65歳以上の方のみの世帯、災害等により孤立地域になる可能性のある世帯、土砂災害警戒区域にお住まいの世帯、聴覚の障がい者手帳の交付を受けている方がいる世帯、避難行動要支援者名簿に記載されている方がいる世帯、川沿いにお住まいの世帯、通常時に屋外放送が聞き取れない世帯

## 戸別受信機（防災ラジオ）の管理にご協力ください

電池の液漏れによる機械の故障防止のために、年1回程度の乾電池交換をお願いします。

## 避難の方法

避難とは難を避けること、安全を確保することです。「自らの命は自らが守る」意識を一人一人が持ち、普段からどう行動するか決めておきましょう。

### ●在宅避難

避難所への移動だけが避難というわけではありません。ハザードマップで自宅周辺の状況や避難所までの避難経路をご確認いただくとともに、自宅での安全が確保されている場合は、自宅の安全な場所へ避難する在宅避難にご協力ください。

### ●親戚や知人宅への立ち退き避難

近くの安全な親戚や知人宅など、避難所以外への避難も検討してください。

### ●避難所への立ち退き避難

スリッパ、常備薬など自身が必要とする物の持参と、暑さ対策や防寒対策をお願いします。

※重症化リスクが高い方への感染症の感染を防ぐため、避難所ではマスクの着用を推奨します。

☎危機管理課 ☎22-2206

## 防災行政無線の内容を電話で確認できます

自宅や携帯電話から、防災行政無線放送の放送内容を確認することができます。放送の内容が聞きづらい場合は、お電話でお問い合わせください。※防災・防犯等の緊急情報のみを聞くことができます。

☎0800-800-5747（通話料無料）

## 物価高騰対策給付金の申請期限は7月31日です

市では、物価高騰に対する生活支援として、令和8年3月1日時点で市に住民登録がある方を対象に物価高騰対策給付金を支給しています。

同年3月15日時点で世帯主名義の公金受取口座（マイナンバーに紐づけられている口座）を登録されていた世帯を除き、**給付金の受給には申請手続きが必要**です。

まだ申請されていない方で給付金の受給を希望される場合は、4月下旬に世帯主宛てにお送りしている給付金のご案内（オレンジ色の封筒）をご確認の上、オンライン・郵送・窓口のいずれかで申請してください。

なお、**申請期限（令和8年7月31日（金））までに申請されなかった場合は、給付金の受給を辞退されたものとみなします**（宛所不明等により給付金のご案内が届いていない場合で、その旨の申し出がなく、右記期限までに申請がされなかった場合も同様）。

詳細は市HP（下記QRコード）をご確認ください



☎21-55523  
総合政策課給付金専用ダイヤル

## 水道基本料金の一部を 6か月分減免します

市では物価高騰に対する支援策として、水道料金改定に伴う基本料金の増額分を6か月分減免します。

**対象者** 秩父広域市町村圏組合水道局から給水を受けており、かつ市内に水栓がある全ての水道使用者(官公署や公共施設等は除く)

水道基本料金の減免額

メーター口径	新旧料金差額(税込) 【1検針・2か月分】	新旧料金差額(税込) 【3検針・6か月分】
13mm	1,298円	3,894円
20mm	2,420円	7,260円
25mm	4,620円	13,860円
30・40mm	9,548円	28,644円
50mm	17,402円	52,206円
75mm	37,070円	111,210円
100mm	64,394円	193,182円
100mm超	134,860円	404,580円

### 対象請求分

【偶数月検針の場合】7月・9月・11月請求分

【奇数月検針の場合】8月・10月・12月請求分

**減免額** 水道料金改定に伴う基本料金の増額分(旧料金と新料金の差額分)

**減免の手続きは不要です。**対象請求分の請求額から自動的に減免されます。

※使用水量に応じた立方メートルあたりの料金および下水道料金は減免されません。

問減免に関すること

総合政策課 ☎ 22-2823

水道料金に関すること

ちちふ広域水道お客様センター

☎ 25-5221



## 秩父に新風。



秩父市長 清野 和彦

### 世界情勢の変化と 地域の暮らしを守るために

昨今、世界情勢は大きく変化しており、とりわけ中東情勢の混乱により、エネルギーや原材料の安定供給に対する不安が続いています。石油製品の原料であるナフサについても供給不足や価格上昇が生じ、その影響は私たちの日常生活や地域経済さらには自治体運営にまで及んでいます。

秩父市では、こうした状況を重く受け止め、市役所が担うあらゆる業務の分野において、どのような影響が既に発生しているのか、また今後発生する可能性があるのかについて、全庁的な情報収集と分析を進めています。その上で、想定される課題に対し、各部署が早期に対応策を検討し、市民サービスへの影響を最小限に抑えるよう努めております。しかしながら、市が予定している

公共工事においては、必要な資材等の入手が困難となり、工期に影響が生じています。市ではこうした事態を受け、改めて事業の優先順位や発注時期について適切に検討してまいり所存です。

また、燃料費や物流費の上昇は物価全般に影響を及ぼし、家計負担の増加につながることが懸念されます。市内事業者の皆さまにおかれましても、工事材料や製品原料の価格上昇調達困難などによる経営への影響が引き続き懸念される所です。

秩父市としては、国や県の支援制度に関する情報を迅速に収集するとともに、地域経済への影響を的確に把握するため、関係団体や事業者との情報共有を進めながら、必要に応じて独自の支援策についても実施してまいります。

さらに、市役所においても、燃料や資材価格の高騰による経費の増加を想定し、これまで以上に効率的な行財政運営に努めるとともに、限られた財源を有効に活用しながら、市民の皆さまの生活に必要な施策を着実に推進してまいります。

市民の皆さまに最も身近な行政機関として、厳しい社会経済環境の中にあっても、地域の暮らしと産業を守るため、引き続き全力で取り組んでまいります。

また、正確な情報発信を心掛け、市民の皆さまが安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。

市民の皆さま、事業者の皆さまと力を合わせ、この難局を乗り越えてまいりたく存じます。

「企業版ふるさと納税」による  
ご寄附をいただきました

ご寄附をいただいた企業様をご紹介します。  
誠にありがとうございました。  
多様な企業支援により安定した雇用を創出する事業のために  
▶ 2月24日、株式会社キッカケクリエイションから

新町会長さんのご紹介

(令和8年6月15日現在。敬称略)

町会名	会長名
上町	松田雅雄

秩父市監査委員(議員選出)  
の就任



木村 隆彦氏  
(中村町)

木村氏は、市議会5月臨時会において議会の同意を得て、5月20日付で清野市長から監査委員に選任されました。

秩父市文化芸術振興条例  
検討委員会委員を公募します

秩父市文化芸術振興条例の策定にあたり、条例案を検討する検討委員を公募します。



- ① 市内に住所を有する方
- ② 令和8年4月1日現在で、18歳以上の方
- ③ 市が設置する他の審議会等の公募委員でない方

任期 委嘱の日から委員会の設置目的を達成した日まで

会議開催回数 5回程度(平日昼間を予定)

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、生涯学習課へ提出(郵送・メールでも可)

※応募用紙は、市HPからダウンロード可  
応募締切 7月31日(金)必着  
選考方法 提出された書類および面接により選考を行い、選考の結果は応募者全員に通知します。

面接日 8月18日(火)午後  
その他 委員報酬はありません。  
生涯学習課 ☎ 22-10420  
syogai@city.chichibu.lg.jp



「第6回 未来技術エキシビションin 秩父」開催

市では、これまで未来技術を活用したSociety5.0事業や、国が進める「デジタルライフライン全国総合整備計画」において世界初となるドローン航路の整備など、数々の先端技術関連の取り組みを行ってきました。

今年も、これらの先進的な取り組みを市民の皆さんに身近に感じてもらうためのイベント「未来技術エキシビション」を開催します。

今回のコンセプトは、秩父農工科学高等学校の校舎まるごとが「未来のまち」に大変身。子どもたちは“たんけん隊”になって、ドローンやスマートシティの技術を「見て・触れて・驚きながら」秩父の未来を旅することができます。



とき 8月8日(出) 10時~16時

ところ 秩父農工科学高等学校

対象 小中学生とご家族

※「トイドローン操縦体験」および「屋内ドローンショー」の参加には、事前の申し込みが必要です。

定員 ①「トイドローン操縦体験」/各部定員20人(3部合計60人)

②「屋内ドローンショー」/各部定員100人(2部合計200人) ※定員数に関しては、会場の広さに応じて変更となる可能性があります。

参加費 無料

用 7月10日(金)以降、右記のQRコードからお申し込みください(先着順)。



イベント	対象
①トイドローン操縦体験	小中学生(要予約)
②屋内ドローンショー	※見学は予約不要
③学ぶゾーン&大型展示	全来場者
④クイズラリー	

なお、同校の別会場では、昨年度に引き続き、FIND秩父AI・ロボット研究分科会による「ロボコンin FIND秩父杯」を開催します。専用のロボットを使ったライトレースや物を運搬する競技をチーム戦にて行います。こちらにもぜひご参加ください。

☎ 先端技術推進課 ☎ 21-5522